

スポーツ傷害と画像診断		講義	教授 川崎 一郎
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12351302

1. 授業のねらい・概要

骨折、脱臼や軟部組織損傷を評価するにあたり、その発生機序や臨床症状とともに、X 線画像や超音波画像、そして MRI 画像が重要な手掛かりとなる。本講義では、「代表的な運動器のスポーツ傷害を取り扱い、それらの傷害が X 線画像や超音波画像、そして MRI 画像にどのように描出されるのかを理解できるようにする」ことを目的とする。

2. 授業の進め方

パワーポイント、板書、ならびに配布資料を用いた講義形式となる。

3. 授業計画

1. X 線画像の基礎 2. 超音波画像の基礎 3. MRI 画像の基礎 4. 肩関節の解剖 5. 肩関節のスポーツ傷害と画像評価 6. 肘・手関節の解剖 7. 肘・手関節のスポーツ傷害と画像評価 8. 股関節の解剖	9. 股関節のスポーツ傷害と画像評価 10. 膝関節の解剖 11. 膝関節のスポーツ傷害と画像評価 12. 足関節の解剖 13. 足関節のスポーツ傷害と画像評価 14. 脊椎の解剖 15. 脊椎のスポーツ傷害と画像評価
---	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各関節の解剖をよく理解しておくこと。加えて、代表的なスポーツ傷害の概要を調べておくこと。なお、これらの準備学修には、2 時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答などを解説する。

6. 授業における学修の到達目標

X 線測定や超音波測定、そして MRI 測定に関する臨床的な基礎知識を習得する。加えて、代表的な運動器のスポーツ傷害についても理解できるようにする。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（100％）で評価する。成績評価にあたっては、授業回数の 2/3 以上の出席を前提とする。

8. テキスト・参考文献

施術の適応と医用画像の理解 南江堂 （公社）全国柔道整復学校協会 細野昇・川口央修
その他の必要資料は授業中に適宜配布する。

9. 受講上の留意事項

授業に解剖学の教科書などを持参することが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は接骨院における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。